

記者信會

行到途中革命歌其他ノ不穩ナル歌ヲ高唱シ
タル者及途中箱入者(今日ハ中途飛入ハ辭禁
シアリタリ)並ニ解散後群衆ヲ不穩ノ状態ニ
導ク虞アル特別要視察人其他ノ先陣有子ヲ
檢束シ其除前記セル如ク混亂ヲ生シ已ムコ
得ス比較的多数ノ檢束者ヲ出シ益々圓會場
ニ於ケル檢束者ト合セテ百九十九名ヲ集シ
タル左右ノ内查テニ於テ目下檢査中ノ人物
ニ係ル者及格假ナル不穩ノ舉動アリタル者
十九名ヲ除ク外一先取調ヘノ上即惣全部
放還シ其他ノ十九名ニ就テハ引續キ取調中
進而黒川附近ニ於ケル主義者檢束ノ際
混亂ヲ集シ帝國通信社員松本勲夫ヲ殘棄

計一九六

一九六名外
「放還」

官カ段打レタリト云フ新聞記事ニ就テハ
目下事實ノ調査中ニ屬スルニ本朝東京支
館事カ一齊ニ改竄的記事ヲ掲ケタルハ主
トシテ此事件ニ激成セラレタルニト認
メラル

漫 遊 記 要 旨

為働糸ハ労働者カ實際的ニ權ヲシテ資本主
義ヲ討擄スルノ目ヲアル行到ヲ造ツテ市中
ヲ練リ歩ク神リカハ計ハテハナイ第四回
ノメモリテハ最意義ヲラシムヘク標榜ノ一
タル生老撫ノ獲得ニ向ツテ全力ヲ傾注シ十
ケレハナラヌ又彼ノ露田重ヲ思日吾々ハ彼